

2011年度委員会事業報告書

事務局 事務局長 鈴木曜子

1. 委員会開催日 (33回)

1/ 4	1/11	1/18	2/ 1	2/10	3/ 1	3/11	3/31
4/18	4/19	5/ 6	5/ 9	5/18	5/30	5/31	6/ 2
6/10	6/28	7/ 8	7/26	8/ 4	8/30	9/ 6	9/ 9
9/21	9/26	9/27	10/ 7	11/ 1	11/11	11/22	12/ 2
12/27							

2. 事業報告

- | | |
|------------------------|--------------------|
| ①定時総会・臨時総会の担当 | 1月27日・8月18日・12月15日 |
| ②賀詞交歓会(1月例会)の担当 | 1月19日 |
| ③夢エリア合同事業(9月例会)の担当 | 9月19日 |
| ④定款及び諸規定会員名簿の作成 | 2010年12月 |
| ⑤誕生日祝い品の選定 | 2010年12月 |
| ⑥総会の記録保管 | 1月27日・8月18日・12月15日 |
| ⑦シニアクラブ総会の担当 | 1月19日 |
| ⑧日本JC京都会議の担当 | 1月20日～1月23日 |
| ⑨基本資料の作成 | 2月 |
| ⑩委員会表彰及び100%出席表彰祝い品の選定 | 12月18日 |
| ⑪総会・例会の出席者確認報告 | 通年 |
| ⑫定款諸規定の見直し | 通年 |
| ⑬LOM運営マニュアルの見直し | 通年 |
| ⑭西尾張6JC正副理事長会議の担当 | 4月20日 |
| ⑮第38回JC青年の船「とうかい号」の担当 | 6月4日～6月11日 |
| ⑯JC IASPAC(マニラ)の担当 | 5月26日～5月29日 |
| ⑰JCI世界会議(ブリュッセル)の担当 | 10月31日～11月5日 |
| ⑱わんぱく相撲(5月例会)への参画 | 5月21日 |
| ⑲JCデー(8月例会)への参画 | 8月13日 |
| ⑳ローカルマニフェスト型公開討論会への参画 | 4月15日 |
| ・新入会員の拡大 | 通年 |

3. 委員会メンバー

鈴木曜子 竹田高弘 三輪浩隆 小坂井敦則

4. 反省点及び申し送り事項

事務局では、本年度の賀詞交歓会において、感謝の心と敬意の念をもってお迎えし、一年の進むべき方向性をしっかりと発信することが出来ました。年々進化しつつも同様なスタイルでの賀詞交歓会も三年目となり、例会内容についてもボリュームの大きさや細やかな設えと配慮が求められる

性質を鑑みますと、運営マニュアルが必要と考え作成いたしました。次年度以降もLOMの方向性が発信できるより良い場をつくる為に、本マニュアルを活用していただき、更なる進化をしていただくことを願い申し送り事項とさせていただきます。

また、事務局は組織運営の要として活動する中で、メンバー各々がそれぞれの役割をしっかりと把握し、責任と自覚を持って高い志で行動し、的確かつスムーズな運営並びに事務処理、庶務管理を行っていくことを心がけて一年間取り組んでまいりました。しかし、理事会を始めとする各会議において前回議事録が配信期限に間に合わず、理事構成メンバーの方々にはご迷惑をお掛けしました。会議が長時間になるなどしたのは、不備を見落とし資料の精査が細部まで行き渡らなかったことが原因と考えられます。資料の精査は中々難しい部分もあり、また時間がかかることから、確認する時間を確保する為にも資料提出期限を徹底していくべきだと考えます。その為には、事前確認をする室長などに提出するスケジュールを明確にすることと、時として毅然とした態度で接する事で、資料提出期限の意識付けが出来ると思っておりますので申し送り事項とさせていただきます。

また、総会運営において大きな失敗もありました。最高意思決定機関である場として、滞りなくスムーズに運営していく為にも、より慎重かつ正確に行っていくことが必要だと感じましたので申し送り事項とさせていただきます。

そして、事務局メンバー一人ひとりが海部津島青年会議所のメンバーとしての「誇り」と、高い志のもと「自信」を持って積極的に行動していくことが出来ました。今後も志高き姿勢で強い責任感を持ち活動していただけることを願い申し送りとさせていただきます。

5. 委員長所見

事務局の担いである理事会、総会、賀詞交歓会（1月例会）等大変多くの事業を担当させていただきました。また、西尾張6JC夢エリア合同事業には実行委員会へ出向させていただき、エリアとしての事業を作り上げていくことの難しさを改めて感じました。拘束時間や事業の開催時間が昼間という事もあり、LOMメンバーの出席率が低かった点については、事業の魅力を十分に伝えきれなかったことを振り返り、いかに想いを伝えていくのか今後の自分の課題が見つかりました。

予定者の期間を含め事務局長としてどのように接し、どのような姿勢を見せていくべきなのか非常に悩んだ時期もありました。しかし、事務局メンバーとはお互いに助け協力し合いながら多くの時間を共有し一生懸命活動したことで、最後まで務めることが出来ました。

最後に、このような機会を与えていただいた理事長をはじめ、多大なるご協力をいただきましたメンバーの皆様方に、心より感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

6. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	647,300	事業費	617,378	④	500,000	④	500,000
				⑤	60,300	⑤	54,000
				⑨	7,000	⑨	6,930
				⑩	80,000	⑩	56,448
合 計	647,300	合 計	617,378	合 計	647,300	合 計	617,378